

平成 22 年 12 月 27 日【月】

子宮頸がん予防ワクチン接種 ヒブワクチン接種 小児用肺炎球菌ワクチン接種 の助成制度について

◆ 公明党神戸市議団の取組み

【芦田賀津美市議が会派を代表し議案内質疑を行う】

平成 22 年 11 月 29 日、芦田賀津美市議が、神戸市一般会計補正予算案の本事業費に係る 1 億 9700 万円について、その事業の内容、ワクチン接種の対象者、接種率、ワクチンの効果と安全性のほか、医療機関との調整、対象者への啓発などについて質疑いたしました。

更に、本事業の対象者には**所得制限をつけず**、全ての対象者が安心して接種できるように強く訴えるとともに、特に**子宮頸がん予防ワクチンについては、接種対象者が中学 1 年の女子～高校 1 年（相当の年齢）の女子となっており、平成 23 年 4 月以降に高校 2 年生に進級する女子に対しても助成対象から外れることのないよう繰り返し要望いたしました。**

◆ 公明党の意見・要望が反映

この度の神戸市子宮頸がん予防ワクチン接種、ヒブワクチン接種、小児用肺炎球菌ワクチン接種助成制度については、保護者に**所得制限をつけることなく全ての対象者に接種助成が可能**となりました。

また、子宮頸がん予防ワクチンについては、高校 2 年に進級する女子に対しても、1 回目の接種を平成 22 年度内に接種を済ませた者に限り、2 回目・3 回目も助成を受けることができるようになりました。

◆ 今後の取組み

これからも、これら予防ワクチン等接種については引き続き、国における**早期の定期接種化**を強く推進してまいります。

参考ページはこちら：

<http://www.city.kobe.lg.jp/life/health/infection/vaccination/index.html>